

# 新規採用・削除医薬品等通知

薬剤部 医薬品情報管理係

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	ロトリガ粒状カプセル 2g	市販直後調査 平成 25 年 1 月～平成 25 年 7 月
(英名)	LOTRIGA 2g	
(規格・含有量)	2g/1包 1包中、オメガ-3脂肪酸エチル 2gを含有	
(一般名)	オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル	
(メーカー名)	武田	
【薬価収載日】	2012年11月22日	
【薬価】	1包:254.0円	
【薬効コード】	872189	
【薬効分類名】	EPA・DHA 製剤	
効能・効果	高脂血症	
用法・用量	通常、成人にはオメガ-3 脂肪酸エチルとして 1 回 2g を 1 日 1 回、食直後に経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により 1 回 2g、1 日 2 回まで増量できる。	
禁忌	①出血している患者(血友病、毛細血管脆弱症、消化管潰瘍、尿路出血、喀血、硝子体出血等)[止血が困難となるおそれがある。] ②本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	<b>本剤他剤副作用増強</b> 抗凝固薬(ワルファリンカリウム等)、抗血小板薬(アスピリン等)	
副作用	<b>その他</b> 下痢、発疹・薬疹・掻痒、高血糖、めまい、鼻出血、悪心、肝機能障害 等	

(薬品名)	スイニー錠 100 mg	
(英名)	SUINY Tab.100mg	
(規格・含有量)	100mg/1錠 1錠中、アナグリプチン 100mg を含有	
(一般名)	アナグリプチン錠	
(メーカー名)	三和化学	
【薬価収載日】	2012 年 11 月 22 日	
【薬価】	1錠:83.0円	
【薬効コード】	873969	
【薬効分類名】	選択的 DPP-4 阻害剤 ー2 型糖尿病治療剤ー	
効能・効果	2 型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る (1) 食事療法、運動療法のみ (2) 食事療法、運動療法に加えて $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤を使用 (3) 食事療法、運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用 (4) 食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用 (5) 食事療法、運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用	
用法・用量	通常、成人にはアナグリプチンとして1回100mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら1回量を200mgまで増量することができる。	
禁忌	①本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 ②重症ケトosis、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1 型糖尿病の患者[輸液及びインスリンによる速やかな高血糖の是正が必須となるので本剤の投与は適さない。] ③重症感染症、手術前後、重篤な外傷のある患者[インスリンによる血糖管理が望まれるので本剤の投与は適さない。]	
相互作用	<b>本剤作用増強</b> 血糖降下作用を増強する薬剤( $\beta$ -遮断薬、サリチル酸製剤、モノアミン酸化酵素阻害薬、フィブラート系薬剤等) <b>本剤作用減弱</b> 血糖降下作用を減弱する薬剤(アドレナリン、副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン等) <b>他剤作用増強</b> ジゴキシン <b>本剤他剤副作用増強</b> 糖尿病用薬(スルホニルウレア剤、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤、ビグアナイド系薬剤、チアゾリジン系薬剤、速効型インスリン分泌促進薬、GLP-1 受容体作動薬、インスリン製剤等)	

副作用	<b>重大な副作用</b> 低血糖症、腸閉塞 <b>その他</b> 便秘・下痢、発疹、ALT/AST上昇、めまい、貧血 等
-----	--

(薬品名)	<b>アコファイド錠 100 mg</b>	市販直後調査 平成 25 年 6 月～平成 25 年 12 月
(英名)	Acofide Tablets 100 mg	
(規格・含有量)	100mg/1 錠 1 錠中、アコチアミド塩酸塩水和物 100mg を含有	
(一般名)	アコチアミド塩酸塩水和物錠	
(メーカー名)	アステラス	
【薬価収載日】	2013 年 5 月 24 日	
【薬価】	36.2 円	
【薬効コード】	872399	
【薬効分類名】	機能性ディスペプシア (FD) 治療剤	
効能・効果	機能性ディスペプシアにおける食後膨満感, 上腹部膨満感, 早期満腹感	
用法・用量	通常, 成人にはアコチアミド塩酸塩水和物として1回100mgを1日3回, 食前に経口投与する。	
禁忌	本剤の成分に対し, 過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	<b>本剤他剤作用増強</b> コリン賦活剤やコリンエステラーゼ阻害剤 (アセチルコリン塩化物等、ネオスチグミン臭化物等) <b>本剤作用減弱</b> 抗コリン作用を有する薬剤 (アトロピン、ブチルスコポラミン臭化物等)	
副作用	その他 下痢、便秘、ALT/AST増加、血中プロラクチン増加 等	

## 削除医薬品通知

<b>●8月1日より</b>		
サラゾピリン坐剤 500 mg		削除
ペリシット錠 250 mg		削除
セルタッチテープ 70 7 枚		削除
MMD配合散 1.3gヒート		削除

## 規格変更通知

今回採用医薬品 (採用)	従来採用医薬品 (削除)
<b>●8月1日より</b> ペンタサ錠 500mg	ペンタサ錠 250mg

## 剤形追加通知

今回採用医薬品

●8月1日より

ペンタサ坐剤 1g

## 医薬品変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
・ハリゾンシロップ 100mg/mL	ファンギゾンシロップ 100 mg/mL
・塩酸メピバカイン注シリンジ 0.5% 「NP」 10mL	カルボカインアンプル注 1% 10mL
・ネオビタカイン注シリンジ 5mL	ネオビタカイン注 5mL
・エンブレル皮下注 50 mgペン 1.0mL	エンブレル皮下注 50 mgシリンジ 1.0mL

## 適応追加通知

イリノテカン塩酸塩点滴静注 40mg「NK」

小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌(手術不能又は再発)、結腸・直腸癌(手術不能又は再発)、乳癌(手術不能又は再発)、有棘細胞癌、悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)、**小児悪性固形腫瘍**

1. 小細胞肺癌、非小細胞肺癌、乳癌(手術不能又は再発)及び有棘細胞癌はA法を、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌(手術不能又は再発)及び結腸・直腸癌(手術不能又は再発)はA法又はB法を使用する。

また、悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)はC法を、**小児悪性固形腫瘍はD法**を使用する。

A法:

イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に1日1回、100mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で3~4回点滴静注し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

B法:

イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に1日1回、150mg/m<sup>2</sup>を2週間間隔で2~3回点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

C法:

イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に1日1回、40mg/m<sup>2</sup>を3日間連日点滴静注する。これを1週毎に2~3回繰り返し、少なくとも2週間休薬する。

これを1クールとして、投与を繰り返す。

なお、A~C法の投与量は、年齢、症状により適宜増減する。

D法:

イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、1日1回、20mg/m<sup>2</sup>を5日間連日点滴静注する。これを1週毎に2回繰り返し、少なくとも1週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

なお、D法の投与量は、患者の状態により適宜増減する。

2. A法・B法では、本剤投与時、投与量に応じて500mL以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、90分以上かけて点滴静注する。

C法では、本剤投与時、投与量に応じて250mL以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、60分以上かけて点滴静注する。

D法では、本剤投与時、投与量に応じて100mL以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、60分以上かけて点滴静注する。